

中学時代の挫折経験が行動力の原点

中学生時代にある出来事から友人関係に悩み、一時は不登校生活も経験。どん底まで落ち込んだ時、声をかけてくれた先生や笑顔が消えてしまった家族や周りの人の顔に、ある時ハッとしました。自分が前向きであることが周りをポジティブにする！それに気づいてからは、自ら行動して社会に通用する実力をつけよう一念発起。高校から寮生活を選択し、仲間と出場した観光甲子園2021ではグランプリも受賞しました。



「もっと冒険したい」自分で道を切り拓く、さとのぼ大学の面白さ

大学進学では「自分をもっと試してみたい」という思いから、世界最難関とも言われるミネルバ大学に挑戦するも不合格。そんな時に先生に紹介されたのがさとのぼ大学でした。ミネルバ大学の世界の知らない場所に飛び込んで学ぶスタイルはさとのぼ大学に似ているけれど、海外ではなく日本なので最初は乗り気ではなく…その後、開校したばかり学校だからこそ思いっきり挑戦できるんじゃないかと思うように。また、日本各地に拠点を持てる、移住っておもしろいなとさとのぼ大学への進学を決意しました。



地域事務局スタッフとの対話で新しい自分に出会う

一年目の地域は岐阜県郡上市(ぐじょうし)。当時は地域の方との交わり方がわからず、悩んだこともありましたが、そんなときに地域事務局のスタッフの「夢中になれることは何?」という言葉に、地域に飛び込んだヨソモノとして気負いすぎていた自分に気づきました。その後は、入りすぎていた肩の力が抜け、地域の草刈りに参加したり共に食卓を囲んだりしながら、もっと自分らしく生きてもいいんだと思うと同時に、自然と地域に何かを残したいという気持ちに。郡上の特産品と出身地高知のご当地パンである「帽子パン」を組み合わせたマイプロジェクトでは、実際に制作したパンを地域で振る舞い、美味しそうに食べる皆の笑顔を見て「食の力で人を幸せにしたい」という新しい気持ちも芽生えました。

明神 光竜 (みょうじん ひかり)

さとのぼ大学2年生
2022年4月入学
(ネットの大学managaraとダブルスクール)

高知県四万十市出身。梶原高校卒業。
さとのぼ大学1年目は岐阜県郡上市、
2年目から宮城県女川町をフィールドに学ぶ、旅する大学生。

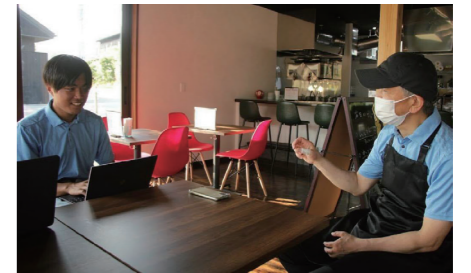


帽子パンの試作とひかりくん

二年目の舞台は宮城県女川町。一年目での気負いすぎた失敗経験から、女川では毎日まちに出かけ地域の人と接点を持つなど、積極的なコミュニケーションを心掛けています。女川に来て間もない間に、地域住民と新入生の食事を企画したり、シェアハウスの管理人としてゲストに地域を案内したり。1年目には手探りだった地域暮らしは着実にレベルアップしています。女川で一年目の郡上の郷土料理「味噌煮」を振る舞うことも。今後は各地の料理をテーマに、「旅する」郷土料理が地域や人との縁を結び笑顔をつくる、地域の「橋渡し」になるようなマイプロジェクトを構想しています。



地域ではカレー屋さんの広報を實踐中！自分の可能性をもっと広げたい



女川にオープンしたカレー屋さんでアルバイトのかたわらで、SNS発信をしたり実務に関わりながら、起業のノウハウを学んでいます。4年生のマイプロジェクトでは、自分で事業を立ち上げることを考えています。周りはもう構想を練ればとけしかけますが(笑)、まだこれと絞らずに地域でトライする中で自分の可能性を広げていきたいです。最近ではデザインの勉強も始めました。

さとのぼ大学の講義は週に3日あり、すべてオンラインで、講師や他の地域に暮らす学生と対話しながら学びを深めます。最初は、授業で勉強したことを地域で実践すると思いましたが逆で、地域で暮らしながら得たことを授業に持ち込むことで、学びを言語化でき、より自分の中に深く落とし込める気がしました。たった一人で地域に飛び込むことには、不安も付きまといま。講義はそんな不安を解消し、地域の暮らしからいろんなヒントを持ち帰っているんだ、着実に前進しているんだという自信にもつながっています。



地域での暮らしは360度が学び 対話で深めて成長を確かめ合う オンライン講義

ひかりくんのある一週間

※1 地域での体験を皆にシェアしたりリフレクションしたり、日本全国の仲間とオンラインでの関わりが多くあります。だいたい地域事務局や交流センターに来て受講しています。※2 自分の興味や関心に立ちかえるべく、やりたいけどできていないことをして学びます。講義の課題をしたり、オンラインでの首の活動をチェックしてリアクションしたりも。地域事務局でお茶会をしたりお菓子シェアしたり、近くにいる人と談笑しながら。※3 さとのぼ大学関連の大人や地域の人からSNS連絡が多く来るのでまとめて時間を取って返信しています。

	月	火	水	木	金	土	日
午前	ホームルーム ^{※1}	さとのぼ大学講義			他通信制大学 (managara) の講義	ドライブ	アルバイト
午後1	自分の興味や関心の探究・マイプロジェクトに向けた活動 ^{※2}					アルバイト	アルバイト
午後2	オンラインコミュニケーション (SNSの連絡など) ^{※3}			地域イベントの準備		地域の人のお手伝い	カフェでお話し
夜	人とのリアル交流 ^{※4}	他通信制大学 (managara) の講義			地域イベント	買い出し	人とのリアル交流やお出かけ ^{※4}

※4 地域の人や地域に来た人とのご飯やお出かけ、お店にお話しに行ったり、最近では街のイベントのポスターデザインの依頼も頂きました。花火を見たり、港に行ってみたりも。

さとのぼ大学の学びは入学前から始まっている!?

入学前には高校教師である両親の説得にも苦労しましたが、探究発表や観光甲子園といった様々な活動に主体的に取り組むことで意志を示し、貫いてきました。さとのぼ大学は偏差値やテストがある大学ではありませんが、自身の学力を証明するために東京の有名私立大を受験し合格もしました。両親は今も自分が何をやろうとしているのか理解しきれてはいないと思いますが将来は地域で働くと思っているんじゃないかな。でも、中学での挫折経験から立ち上がっているのも見てくれているので、自分をとおして証明していくしかないと思っています。好きなことや面白いことをみつけるために出かけてみる、人と話してみる、まずは一つ行動してみる事が大事だと思います。そうした行動は、さとのぼ大学入学後にも必要になるので同じです。さとのぼの学びは、入学前から始まっていますよ!

